

血液（血漿・血清）の粘性率測定技術の共同開発

名誉教授 大野宏毅、元健康予防食科学 徳井教孝

利用分野

「日本再興戦略」改訂2014の中で、セルフメディケーションの推進等が挙げられている。セルフメディケーションは「自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすること（WHO）」と定義され、日常の自己健康管理に必要な技術のひとつとして位置づけられる。

シーズ

電解質溶液の電気伝導を測定して、その粘性率を迅速に求める方法を開発し、先に特許出願した（特開2015-132510）。この原理を用いれば、従来の粘性率測定法のように試料に接する可動部分を必要としないので検査装置が小型になり、試料の微量化を可能とする。そこで、九州工業大学坂本憲児准教授らとともに血液電気伝導率計測用マイクロ電極を共同開発した。



ニーズ

血液の粘性率増加をきたす疾患や、逆に血液の粘性率低下をきたす疾患が多く知られている。従来の粘性率測定法は多量の試料が必要であったり、操作が煩雑であったりするため、血液の粘性を検査室で簡便に測定することができない。本発明による方法は、検査装置は簡素で、検査に必要な試料も微量でよい。セルフメディケーション市場の拡大とともに、自己検査キットに対する市場ニーズと一致する。

連携分野

九州工業大学との共同研究により、血液電気伝導率計測用マイクロ電極を試作した。セルフメディケーション技術に興味を示すドラッグストアやマイクロ化技術を有する企業との共同開発を希望する。



知財保護

特許第6692077号、特許第6762009号



微量の血液で、粘性率が短時間に測定できるんだ



本学マスコットキャラクター
ラマディー



産業医科大学 産学連携・知的財産本部
〒807-8555
福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号

問い合わせ先: 研究支援課
TEL: 093 (280) 0532
FAX: 093 (691) 7518
E-mail: chizai@mbox.pub.uoeh-u.ac.jp